ＯＣ第１９４号
令和8年10月28日

陸上自衛隊勝田駐屯地におけるオープンカウンター方式による見積り依頼について

1　本リストは、オープンカウンター方式実施要領に基づく手続きが必要です。

2　本方式は随意契約を前提とした見積依頼であり、有効な見積書を持って申し込みをした者のうち、予定価格の制限の範囲内で最低の価格の見積書をもって申し込みをした者を契約の相手方とします。

3　件名リスト

一連番号	件　名	納入(履行)場所	納　期(履行期限)	見積依頼書公表日	見積書提出期限	見積合せの日時	防衛省競争参加資格	決定方式
1	ボイラー燃焼調整役務	勝田駐屯地	9.3.31	8.10.28	8.11.5 10：00	8.11.5 10：00	なし	総額

4　市場価格調査提出期限：令和８年１１月４日１０時

5　仕様書の交付場所、契約条項等を示す場所、問合せ先及び提出先
見積書及び市場価格調査はＦＡＸもしくはメールで提出可能
施設学校ホームページ（https://www.mod.go.jp/gsdf/shisetsu/es-hp/index.html）
メールアドレス（fin-esh@inet.gsdf.mod.go.jp）
〒３１２－８５０９　茨城県ひたちなか市勝倉３４３３　陸上自衛隊施設学校総務部会計課契約班　　契約担当：鈴木（内線２７４）
電話：０２９－２７４－３２１１　直通ＦＡＸ：０２９－２７１－３１３０

見 積 書

件名リスト一連番号	OC第194号

見積金額　　¥　　（税抜）

品　　名	規　格	単位	数量	単　価	金　　額
ボイラー燃焼調整役務	仕様書のとおり	式	1		
１号ボイラー燃焼調整作業		式	1		
２号ボイラー燃焼調整作業		式	1		
合　計（税抜）					

納入（履行）場所	勝田駐屯地	納期（履行期限）	9.3.31
契約保証金	免除	見積書有効期間	

上記に関して「入札及び契約心得」、「オープンカウンター方式実施要領」及び「標準契約（請）書等」の契約条項等を承諾のうえ見積いたします。また、当社（私個人の場合）、当団体（団体の場合）は、「入札及び契約心得」に示された暴力団排除に関する誓約事項について誓約いたします。

令和　　年　　月　　日

契約担当官陸上自衛隊施設学校
会計課長　　村川　穣二　　殿

住　　所
会　社　名
代 表 者 名
担　当　者
連　絡　先
Ｆ　Ａ　Ｘ

市場価格調査(税抜)

品　　名	規　格	単位	数量	単価	金額
ボイラー燃焼調整役務	仕様書のとおり	式	1		
1号ボイラー燃焼調整作業		式	1		
2号ボイラー燃焼調整作業		式	1		
合　計(税抜)					

提出期限: 令和8年11月4日　10:00
提出先: 陸上自衛隊施設学校会計課
直通FAX: 029－271－3130
直通mail: fin-esh@inet.gsdf.mod.go.jp

住　　所
会　社　名
代　表　者　名
担　当　者
連　絡　先

陸上自衛隊施設学校仕様書

物品番号		仕様書番号	７７
品名・規格	ボイラー燃焼調整役務	承認年月日	
		作成年月日	令和８年１０月２３日
		変更年月日	
		作成部隊等	施設学校総務部管理課営繕班

１　適用範囲

本仕様書は、陸上自衛隊施設学校が委託するボイラー燃焼調整役務について適用する。

２　実施場所

茨城県ひたちなか市勝倉３４３３　陸上自衛隊勝田駐屯地

３　役務内容

(1)　炉筒煙管ボイラー２基の燃焼調整を実施する。

ア　バーナスプレイヤ点検

イ　着火・燃焼確認

(2)　契約相手方は、作業終了後、報告書を作成し、速やかに監督官へ提出する。

４　ボイラー仕様

１号ボイラー

ボイラー型式	炉筒煙管ボイラー タクマＲＥ－６０ＦⅡ	燃料消費量	（定格）４３８kg／h
最高使用圧力	０．９８ＭＰａ	燃焼室容積	４．２３
概算蒸発量	７，２００kg／h	燃焼方式	ＦＧＡ－６，０００　油圧式
実際蒸発量	６，０００kg／h	制御方式	全自動電気式比例制御
ボイラー効率	８８％以上	使用燃料	Ａ重油特種１号
伝熱面積	６６．９㎡		

２号ボイラー

ボイラー型式	炉筒煙管ボイラー タクマＲＥ－８０ＦⅡ	燃料消費量	（定格）６００kg／h
最高使用圧力	０．９８ＭＰａ	燃焼室容積	５．８９
概算蒸発量	９，６００kg／h	燃焼方式	ボルカノSLNG－700　蒸気噴霧式
実際蒸発量	８００kg／h	制御方式	全自動電気式比例制御
ボイラー効率	８８％以上	使用燃料	Ａ重油特種１号
伝熱面積	９２．９㎡		

5　その他

(1)　役務工程表

契約相手方は、工程表を役務実施前に監督官に提出し、承認を受けるものとする。工程表の変更を必要とする場合は、その都度監督官の承認を受けるものとする。

(2)　役務現場管理

ア　作業現場の安全管理は、関係法規に従い遺漏なく行い、事故防止に万全を講じ、常に注意を怠らないようにすること。

イ　本役務の実施に伴い、他の施設及び物品等に汚損又は損傷を与えた場合は、契約相手方の負担により直ちに現状復旧すること。

ウ　役務で使用する電気及び水については、官側の施設を使用することは原則認めないものとする。当該施設を使用する場合は、事前に監督官と協議し、監督官の指示を受けるものとする。

(3)　役務写真

ア　写真はカラーとし、１部を提出するものとする。

イ　撮影要領

測定の写真は測定個所毎、測定前、測定中、測定後共同一場所、同一方向から撮影すること。

ウ　役務関係書類の管理

役務関係書類、パソコン及び可搬記憶媒体の適切な管理を行い、情報流出防止に万全を期すること。

(4)　作業実施日及び時間

ア　土日及び祝日の作業は原則認めないものとする。

イ　作業時間は原則、０８時１５分～１７時００分の間に実施すること。

ウ　作業工程等の都合上、上記事項に不都合がある場合は、事前に監督官と協議のうえ、承認を得てから作業を実施すること。

(5)　異常箇所及び不具合箇所の処置

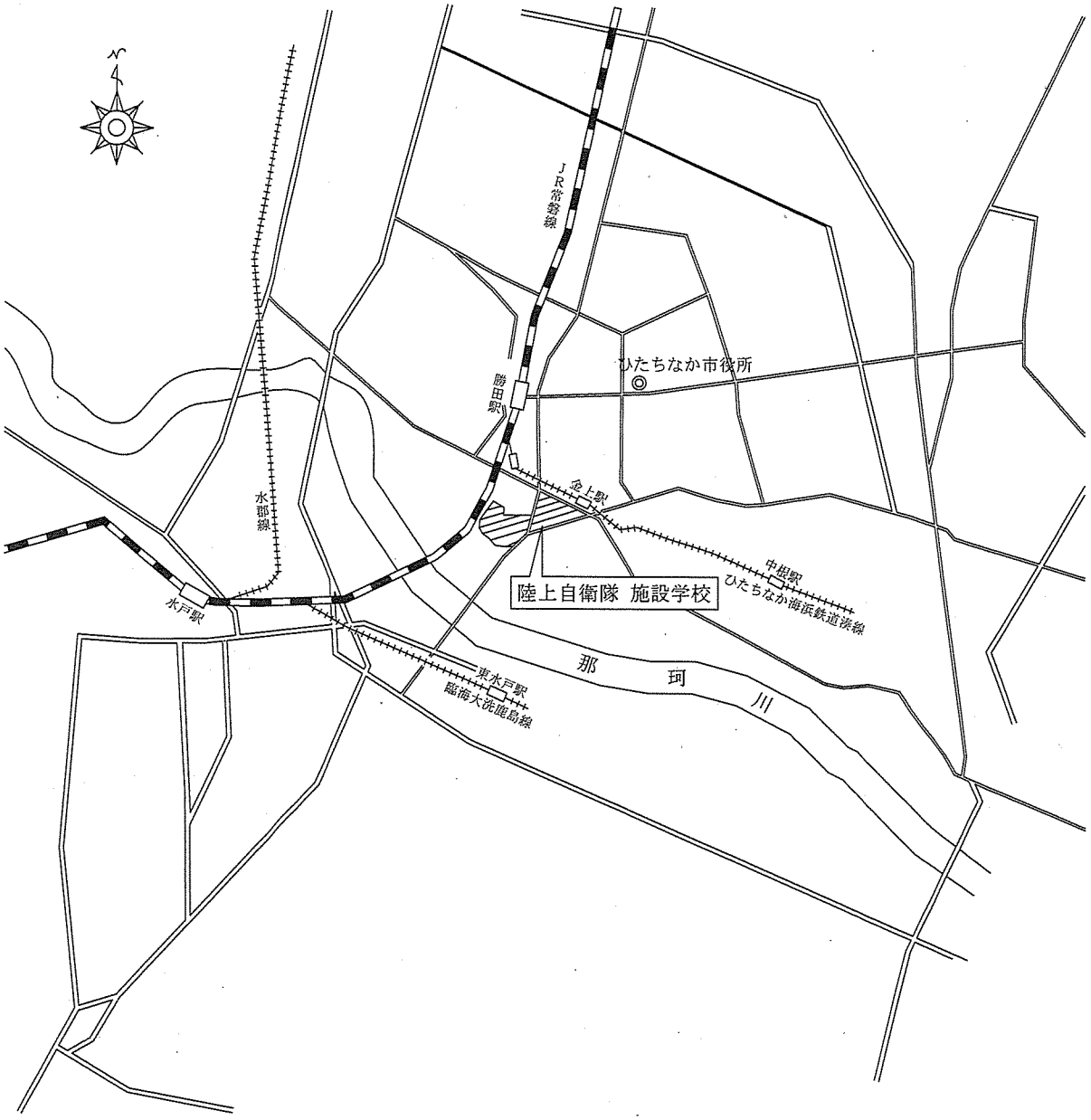
ア　作業中に異常箇所及び不具合箇所を発見した際は、速やかに監督官へ報告し、指示を受けること。

イ　簡易に修理可能な場合は修理を行い、不可能な場合は改善見積書を作成し、提出するものとする。

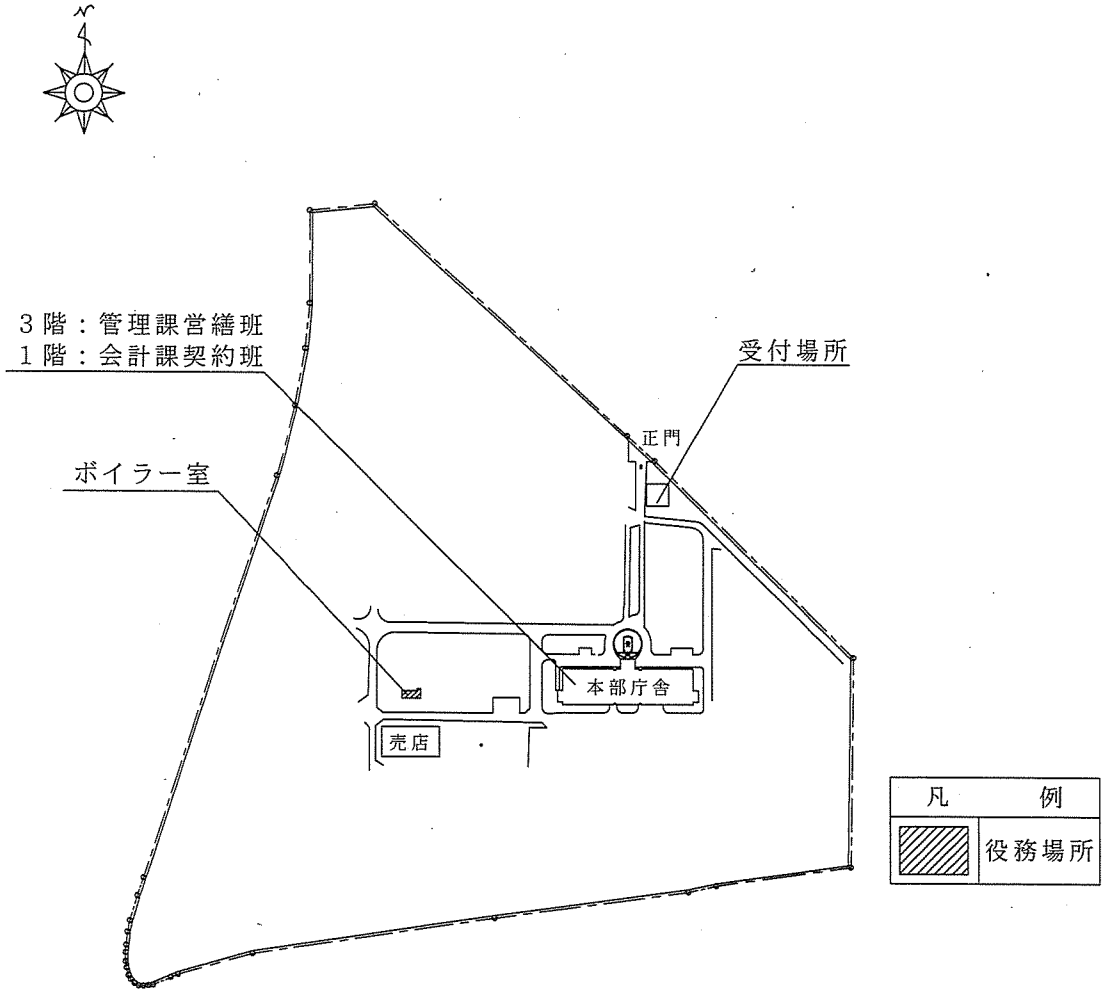
6　調整先

陸上自衛隊施設学校総務部管理課営繕班　工事企画係　荘子技官

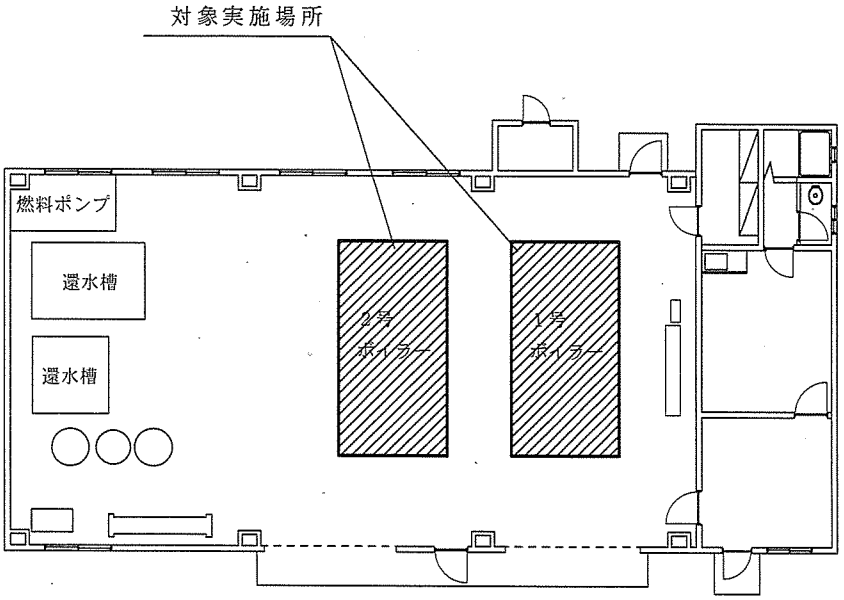
０２９－２７４－３２１１（代表）内線２５１



勝田駐屯地案内図　S=1/X



勝田駐屯地配置図　S＝1：X



ボイラー室平面図　S＝1：X